

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール (SPH)

平成26年度予算額 84百万円 (新規)

社会の変化や産業の動向等に対応した、高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するため、先進的な卓越した取組を行う専門高校（専攻科を含む）を指定。

《背景》

○近年の科学技術の進展等に伴い産業界に必要な専門知識や技術は高度化、従来の産業分類を超えた複合的な産業が発展。
→それらに対応した高度で実践的な教育が必要。
(H15年度入学生から実施の学習指導要領に専門教科「情報」「福祉」を新設)

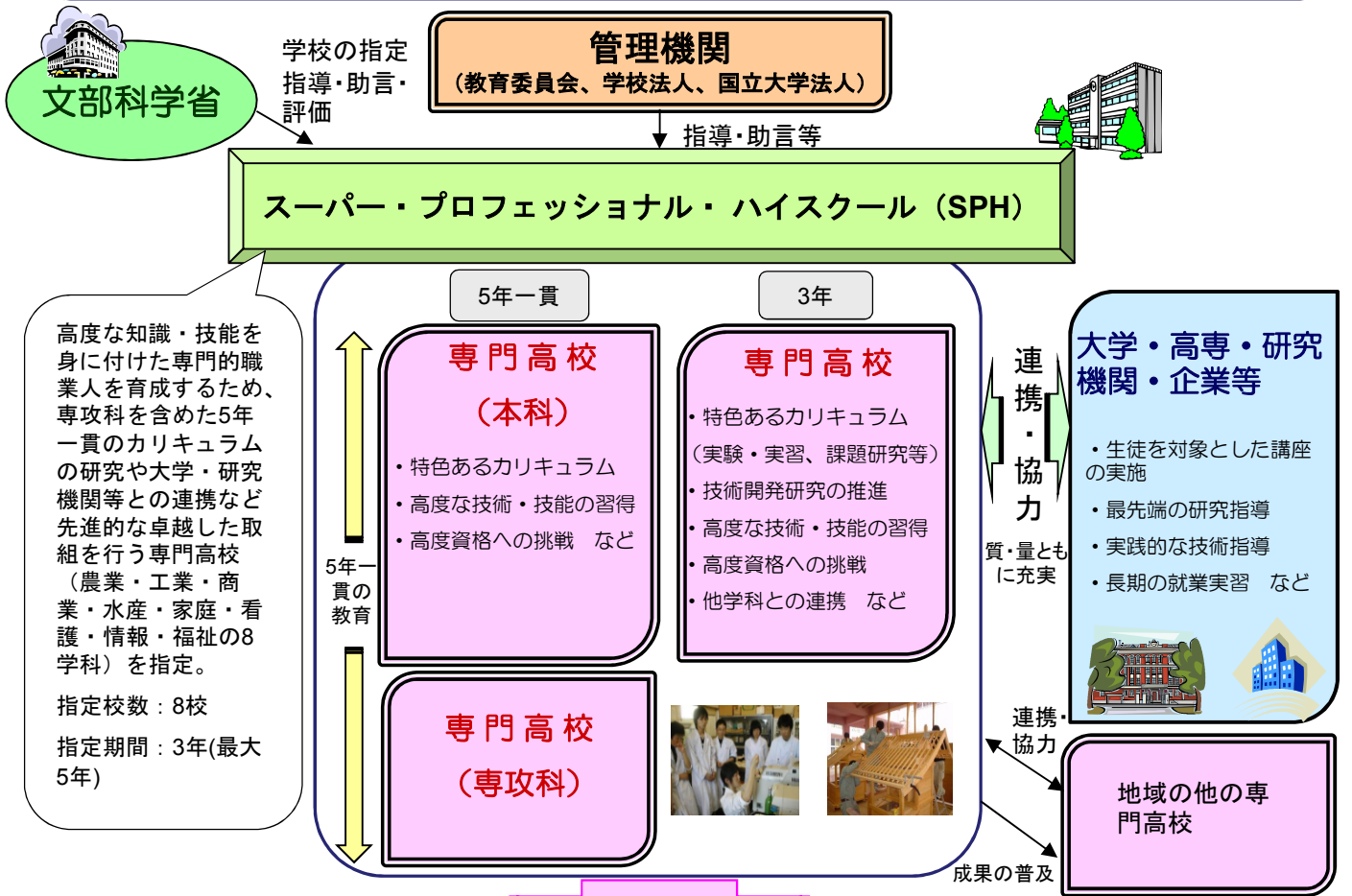
○新高等学校学習指導要領 (H25年度入学生から実施)
→最先端の内容(※)を記載、産業現場等における就業体験の機会を積極的に設けるよう配慮する旨を記載。

※食品トレーサビリティシステム(農業、水産)、マイクロコンピュータの組込技術(工業)など

→座学と実験・実習の連携を図り、「課題研究」等の実践を通じて、問題解決能力や自発的・創造的な学習態度を育成。
高等学校間の連携や交流を図る。

○専攻科は学校教育法で教育課程や授業時数等の基準が設けられていないため、その水準は多様。
→3年間の本科の教育だけでは高度な職業資格が取得できないものがあり、5年一貫教育を行う工夫が見られる。

○生徒の進路 (工業)進学: H6.3卒 25.4%→H23.3卒 35.8%
就職: H6.3卒 70.5%→H23.3卒 60.3%
(学校基本調査)
→高等教育機関への進学希望の生徒増、一方、高卒時点の人材確保を希望する企業も存在。卒業後の進路が多様化。



我が国の産業の発展のため、第一線で活躍する職業人の育成